

だいせん 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



5月31日、大仙市議会議員全員で組織する「大仙市観光推進議員連盟」のカヌー体験研修会が実施されました。20人の参加者はライフジャケットを身に付け、NPO法人「秋田パドラーズ」からカヌーの乗り方、パドル（櫂）の操作、ルールや注意点の説明を受け、早速2人ずつ乗って練習を開始。約30分後には玉川橋下の玉川右岸を下り始め、神宮寺地区の雄物川左岸までの約6キロを1時間にわたり新緑の中の川下りを体験しました。大仙市の新たな観光資源として期待されています。

主な内容

CONTENTS

■ 平成22年第2回（6月）定例会の概要	2～3
■ 5人の議員が一般質問	3～5
■ 委員会審査のあらまし	6
■ 第2回臨時会（4月28日開催）の概要	7
■ 先進地に学ぶ・議会のうごき	7
■ 提出された議案と審議結果・陳情・編集後記	8

平成22年第2回（6月）定例会

31件の議案、2件の陳情を審議

第2回（6月）定例会は6月7日に招集され、6月23日までの17日の会期で行われました。

本会議第1日目に人事案2件、条例案13件、単行案6件、補正予算案8件の計29件が上程され、同日に人事案の2件を同意と決しました。

第2日目と第3日目には一般質問が行われ、5人の議員が市政全般にわたって市当局の見解をたずねました。

第3日目に財産の取得と工事請負契約に関する2件の単行案が追加で提案され、4日目の最終日には提出された議案をいずれも原案可決、同意と決し、第2回定例会は閉会しました。

主な内容は次のとおりです。

人事案

条例案

▽教育委員会委員の任命に同意



三浦 憲一 氏
(花館中町・再任)

▽人権擁護委員の候補者推薦に同意



土肥 広子 氏
(刈和野・再推薦)

▽大仙市公告式条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年度をもって大曲総合支所の各出張所が廃止されたことに伴い、同敷地内に設置している掲示板の名称に各出張所の表記があることから、これらの掲示場の名称を変更するもの。施行期日は公布の日。

花館出張所掲示場↓花館掲示場、内小友出張所掲示場↓内小友掲示場、大川西根出張所掲示場↓大川西根掲示場、藤木出張所掲示場↓藤木掲示場、四ツ屋出張所掲示場↓四ツ屋掲示場、角間川出張所掲示場↓角間川掲示場

▽大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について

大曲体育館トレーニングルームについて、ランニングマシンの導入などに伴い、これらに係る維持管理経費のほか、他施設との均衡も考慮し、使用料を改正するもの。
【使用料（平日、土曜日、日曜日及び祝日）】
1回（2時間まで）▼100円↓
200円
1箇月につき▼1,050円↓
2,100円

施行期日▼平成22年8月1日

【反対討論】 佐藤文字議員

【反対理由】運動不足、肥満、ストレスといった生活習慣病につながる健康課題への対応は市の重要な仕事である。こうした施設の料金は市民全体の健康づくりの一環として徴収すべきでないと考え、ランニングマシンの導入に伴い、トレーニングルームの使用料を2倍にも引き上げるといふ本案には当然賛成できないものであり、反対討論とする。



▽大仙市協和農業体験学習館条例の一部を改正する条例の制定について

大仙市協和農業体験学習館の管理及び運営を指定管理者に行わせるに当たり、平成23年度から利用料金制を導入するため、必要な事項を定めるとともに、所要の規定の整備を行うもの。

▽大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について

協和地域の旧峰吉川保育園隣接地に設置している公園について、一般公園として条例規定するもの。施行期日は公布の日。
名称▼高見が丘公園
位置▼協和峰吉川字高見20番地内
面積▼2,496㎡
公園施設▼グラウンドゴルフ場、あずまや、ベンチ、すべり台、コンビネーション遊具

▽大仙市神岡神清水コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例の制定について

大仙市神岡神清水コミュニティセンターの管理及び運営について、指定管理者制度を導入できるとするために、必要な事項を定めるとともに、所要の規定の整備を行うもの。施行期日は公布の日。

▽大仙市仙北健康広場設置条例の一部を改正する条例の制定について

大仙市仙北健康広場の管理及び運営について、指定管理者制度を導入できることとするため、必要な事項を定めるとともに、所要の規定の整備を行うもの。施行期日は公布の日。



▽大仙市立武道館に関する条例の一部を改正する条例の制定について

大仙市立仙北武道館及び大仙市立仙北第二武道館の管理及び運営について、指定管理者制度を導入できることとするため、必要な事項を定めるとともに、所要の規定の整備を行うもの。施行期日は公布の日。

▽大仙市太田国民健康保険診療所長の給与の特例及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定について

大仙市立太田国民健康保険診療所長の給与に関し、市町村合併時、現職限りの特例として旧町の待遇を引き継ぐために制定した標記条例について、当該所長の退職に伴い、これを廃止するもの。施行期日は公布の日。

財産の取得

▽財産の取得について
中仙地域に配備するロータリー除雪車2・2m級1台を購入することについて指名競争入札を執行した結果、打川自動車株式会社(代表取締役 打川敦)が落札したもので、契約金額2,149万3,500円で仮契約を締結したものの。

工事請負契約

▽工事請負契約の締結について
都市計画道路中通線の新設に係る工事請負契約の締結について、総合評価方式による条件付き一般競争入札を執行した結果、秋田振興・高吉特定建設工事共同企業体(代表者 秋田振興建設株式会社 代表取締役 小原将司郎)が落札したもので、契約金額1億6,065万円で仮契約を締結したものの。

【工事の概要】

契約の名称▼中通線新設工事
位置▼大曲黒瀬町地内
工事内容▼地盤改良工事LⅡ80m、掘削式U型擁壁LⅡ23m、中詰め式U型擁壁LⅡ57m、仮設工事
工期▼平成22年6月25日から平成23年3月18日

補正予算

▽平成22年度 大仙市一般会計補正予算(第3号)

【主な内容】

歳入歳出予算の総額に7億1,580万円を増額するもの。
歳入▼国庫支出金、県支出金、繰越金、市債、分担金及び負担金、諸収入等の増額補正。

歳出▼学校施設耐震化事業費(大曲小・角間川小・土川小・太田南小・高梨小・中仙小・豊岡小・仙北中・大曲西中・平和中・協和中・豊成中)4億9,533万6千円、経営体育成交入金事業費5,008万9千円、移動信用鉄塔施設整備事業費(西仙北地域)8,853万1千円、法人立保育所補助金(大曲地域)1,695万5千円、ほ場整備関連調査計画事業費(中仙地域)432万8千円、等の増額補正。



都市計画道路「中通線新設工事」の大曲黒瀬町地内

一般質問

5人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をたどりました。以下はその要旨ですが、詳細については大仙市議会ホームページの会議録をご覧ください。

一般質問

教育について



公明党 議員 杉沢 千恵子

◆教育長としての期間を振り返っての率直な感想をお聞かせ願いたい。

【三浦教育長】平成18年4月1日に教育長を拝命し、広域化した教育行政を担うに当たり、8地域や43校・8幼稚園の現況把握や新市としての調整、ビジョンや基本方針・基本計画等の作成なども含め、大変な作業でありましたが、組織としてのチームワークを発揮し、充実感も味わっております。

◆今後の当市の教育の有り様についてどのような考えをもっているか。具体的な方向性や施策をお聞かせ願いたい。

【三浦教育長】戦後60有余年、生活や価値観、国際化や市町村合併など、時代や環境の変化に対応して、教育の構造改革も進んできております。目の前の市民の皆様や、多くの子どもたちとより真剣に向き合い、確かなステップを踏み出したものです。「道近しといえども行かざれば至らず」「事は小なりといえども為さざれば成らず」中国の古典にある言葉であります。地域や学校が動いている、地域や学校が脈々と息吹いているとき、市民の凛とした声が響き、子どもたちの元気な声が飛び交う、一人ひとりが存在感をもち精一杯活動できる態勢を、市長

一貫した支援整備にどう向き合い支援していくのか。

【栗林市長】早期発見、早期治療が第一義と考えますので、各種検診時において、うつ症状の方を可能な限りチェックできるような方策を検討することや、地域の健康推進員や民生委員、本年度から新たに養成しているメンタルヘルスサポーター等による関係情報の収集体制の強化等により、早期発見に努めるとともに、対象者を把握した際は直ちに受診が可能となるよう、市立大曲病院をはじめとする医療機関とのより円滑な連携体制の構築を図ってまいりたいと考えます。

◆児童虐待、高齢者虐待、障がい者虐待について、当市の実態は。

【栗林市長】高齢者虐待では24件の通報のうち、虐待と認定したのは9件、児童虐待では101件の相談件数のうち、虐待と認定したのは26件、障がい者虐待についての相談や通報等はありません。

※杉沢議員はこれらの質問のほか、「男女共同参画について」等の質問も行いました。

福祉問題について

◆うつ病や不安障害がい等の早期発見から、社会復帰までの一貫した支援整備にどう向き合い支援していくのか。

【栗林市長】早期発見、早期治療が第一義と考えますので、各種検診時において、うつ症状の方を可能な限りチェックできるような方策を検討することや、地域の健康推進員や民生委員、本年度から新たに養成しているメンタルヘルスサポーター等による関係情報の収集体制の強化等により、早期発見に努めるとともに、対象者を把握した際は直ちに受診が可能となるよう、市立大曲病院をはじめとする医療機関とのより円滑な連携体制の構築を図ってまいりたいと考えます。

一般質問

都市の縮小について



大地の会
石塚 柏 議員

福祉の充実、産業・雇用の向上、生活基盤の整備の3点を重点的に取り組む施策として掲げております。

◆農村集落と都市部の区画でそれぞれ1か所ずつ調査範囲を定め、市が所有する基礎データで10年後、20年後の単位でどの程度不在家屋が生じ

か。その対策は。

◆農村集落は人口の減少で安全、安心にどのような懸念がであると認識しているのか。その対策は。

【栗林市長】本市における集落対策は、現在のところ外部からの人材を投入するなど新たな制度を導入し、集落の方々と自分たちが求める将来像と一緒に考え、検討していく準備段階であると認識しており、今後慎重に事業を進め、人口減少、少子高齢化という現況の中でも「市民と協働による安全・安心に暮らせるまちづくり」を目指し、地域の特性に応じた持続可能な集落対策につなげてまいりたいと考えております。

◆大仙市の都市計画の中で、どの部門でどのような影響を受け、どのような対策を講じなければいけないと判断されるのか。

【栗林市長】今後も進むと予測される人口減少・少子高齢化などにより、都市の経済力や活力の低下が懸念される所です。こうした事態に対処するため、これまででも中心市街地の土地利用の向上と都市機能の強化を図るため、「土地区画整理事業」や「まちづくり交付金事業」などによる基盤整備を進めてまいりました。今後のまちづくりの基本方針として大仙市総合計画においては、保健・医療・

るか、予測調査をすることは可能かどうか。

【栗林市長】将来の家族構成や転入、転出の可能性など把握できない要素があること及び住居の状況等について把握することが困難なため、10年後、20年後の不在家屋の状況については、予測が困難であると思います。しかしながら、今年度市内3地域の集落において試験的に導入する集落支援員は、各集落の現況について聴き取り調査を行う予定であり、不在家屋の状況を予測することは可能なものと考えます。

◆新しい政治目標を実現する指標と指数が必要ではないかと考えるが市長の考えは。

【栗林市長】社会情勢の変化が著しい昨今におきましては、これまでの成果と反省を踏まえた上で、新たな指標設定が必要であるとも認識しておりますので市民の皆様と共有できる目標や指標づくりについて検討してまいります。

※石塚議員はこれらの質問の他、「市長は市議会議員に對し何を期待しているのか」、「議員の政策提言がどれだけ市政に取り上げられているのか」等の質問も行いました。

一般質問

都市計画とまちづくりについて



新政会
小松 栄治 議員

利用度の高いところでありますので、一定の耐震補強をしながら、総合計画あるいは財政計画と合わせて作っておかなければならないのではないかなという認識ではあります。

◆第二地区土地区画整理事業について、都市計画の変更と事業の変更、見直し等が行われているが、さらに変更、見直しまたは中止等はあるのか。

◆土地区画整理事業とあわせ、道路網の整備と新しい町並みが形成されているが、活性化にどう結びつけるのか。

【栗林市長】大曲駅前第二地区土地区画整理事業の早期完成や、これにあわせて整備予定の、当地区における重要幹線である、内環状道路「中通線」の事業実施など、主要幹線道路網の充実に努めてまいります。また、当該事業は、これまで施行地区内の権利者と合意形成を図りながら進めているもので、平成21年度末で81・3%の進捗率となっております。従いまして事業の中止はできないものと考えております。

◆土地区画整理事業の用途指定はどのように行われるのか。見直しは今後行われるのか。

【栗林市長】

再質問▼西仙北地区は合併後、殆ど手つかずの都市計画を指定しているが、市民の生活の向上と文化、教育等、活性化があるまちづくりを推進するためにも西仙北地区に文化施設の建設も含めての考えはあるのか。

【栗林市長】西仙北地域は総合支所が新しい庁舎ですけれども、それ以外はかなり古くなっているところでもございます。

【栗林市長】密集市街地の解消や中心市街地の活性化を主目的としている都市再生型の区画整理事業であり、当事業の整理後の土地利用計画に基づき、平成21年12月7日付けで大曲都市計画用途地域の変更を行っており、市街地の形成状況が大きく変わらない限り見直しは考えておりません。

※小松議員はこれらの質問の他、「大仙市の学校教育について」、「大仙市の農業のあり方について」等の質問も行いました。

一般質問

行財政改革について



後藤 健 議員
まっすぐ大仙

しております。「主な事業の説明書」には各事業の財源が詳細に記載されており、このページに掲載するなどのような事業に、どのような起債が、どれくらい充当されているのかについても、市民の皆様へ情報提供してまいりたいと考えております。

◆市財政の長期見通しをいかに立ていくのか。

【栗林市長】20年・30年先の長期的な財政見通しについては、社会情勢の変化や国の施策等により財政予測が不透明な部分が多く、現実的な数値を示すことが困難なことから長期の財政推計については具体的には立てておられない状況であります。

◆将来にわたって本当に必要な事業なのか、またその規模や方法など見極めが必要ではないかと思うが。

【栗林市長】見直しに当たっては、毎年行っている施策に対する市民評価や内部的に実施している事務事業評価の結果、担当部局や総合支所との協議、さらには公債費負担適正化計画など各種個別計画との整合性など、総合的に勘案しながら作業を行っております。

◆市債の充当事業と発行額を市民へ情報としてオープンにすべきと思うが。

【栗林市長】起債の種類や充当事業が多岐にわたることから、これまで詳しい内容については市民の皆様へ直接お伝えしてまいりませんでした。今後は広報等により充実させるとともに、議員にお配り

◆市債の発行に基準を設け、市債の発行を抑制し易い仕組みを確立すべきと思うが。

【栗林市長】市債発行額の抑制による将来負担の軽減を図ることが、財政健全化に向けて重要な課題であると考えておりますので、確実な市債発行抑制のためにも、適正化計画を遵守してまいりたいと考えております。なお、見直し後の適正化計画につきましては、9月定例会を目前に議員の皆様にお示ししたいと考えております。

◆市民参加と情報公開の観点からパブリックコメント制度を市として導入すべきと思うが。

【栗林市長】市の施策につきましては、市民の意向を反映させることは当然のことであり、今後、より一層、市民への情報提供に努めるとともに、より意見を出しやすい環境づくりに努める必要があるものと存じ、その一環としてパブリックコメント制度についても、制度化に向けて検討してまいります。

※後藤議員はこれらの質問の他、「自殺対策について」の質問も行いました。

一般質問

高齢者が安心して暮らせるまちのために



佐藤 文子 議員
日本共産党

ですので、積極的に活用していただきたいと考えます。このような経緯を踏まえ、高齢者対策として消雪施設を市が直接整備することは考えておりませんが、消雪組合を組織して施設整備する場合は相当受益者負担金が嵩むことを考慮し、組合への補助の増額等も

検討課題かと考えております。

◆高齢者等の日常生活を支えるには、きめ細やかな交通システムの確立と同時に移動スーパードaily用品の調達を可能にするために業者の組織化や支援が求められるが市としての考えは。

【栗林市長】今後、高齢化が一層進展し、高齢者を支える担い手が減少していく中で、公的サービスだけでは対応が困難な生活課題が増加していくことから、住民や自治会、民生委員や社会福祉協議会の他に、地域社会の一員として民間企業の協力をいただきながら、地域全体での支え合いを主体としたシステムを構築し、地域福祉の推進に取り組んでまいりたいと考えます。

◆高齢化と除雪問題は重要な課題であり、消雪化の需要が高まるものと考え。融雪・消雪化の推進など、高齢者率の高い住宅地や集落での冬の生活道路の確保策をきめ細かく立てる必要があると思うが。

【栗林市長】現在、市全体では232消雪組合のうち、大曲地域にあつては213組合が消雪施設整備事業補助金交付要綱に基づき助成措置を受けて施設整備や維持管理をいただいておりますが、この制度は今後も継続してまいりま

◆国保税を払いたくても払えない人が、気軽に申請減免ができるよう、制度の周知や申請書の窓口設置など、体制の一層の充実を願うが、今後の対応は。

【栗林市長】ここ3年間の国保税の減免状況につきましては、平成19年度が23件、平成20年度は47件、平成21年度は144件が減免となっており、この3年間で申請件数、減免税額ともに大幅に増加している状況です。減免申請者の増加の背景には、景況の悪化に伴う納税者の担税力の低下が第一にあげられますが、収納推進課や各総合支所の市民課の窓口へ納税相談に来られる方や収納担当者が臨戸訪問している方で、減免の対象になると思われる方については担当者がその場で減免制度をお知らせし、直ちに減免申請をしていただくよう対応したことも一因であると考えます。今後の対応については、市広報紙や国保だよりへの掲載及び広報紙への折り込みチラシなどを通じて、より一層の周知に努めてまいりたいと考えます。



議案として提出された「工事請負契約の締結について」は、大仙市地域情報通信基盤整備光ファイバー網敷設工事に係り、業者の企画提案を審査して業者選定を行う簡易公募型プロポーザルを

16億125万円の大仙市地域情報通信基盤整備 光ファイバー網敷設工事の契約に同意

第2回臨時会

4月28日に第2回臨時会が開催され、専決処分報告5件を承認、議案2件を原案のとおり可決と決しました。

上程された専決処分報告のうち、「大仙市税条例の一部を改正する条例」と「大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の2件は地方税法等の一部を改正する法律等が4月1日から施行されることに伴って個人市民税、市たばこ税、国民健康保険税等を改正するもの。

「平成21年度大仙市一般会計補正予算(第14号)」は、財政調整基金・減債基金への積立金及び地域活性化に係る3つの臨時交付金などの確定並びに事業費や市債の確定に伴う繰出金などについて補正を行ったもので、歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億8,505万4千円を追加したものの。

実施した結果、東日本電信電話株式会社秋田支店と、契約金額16億125万円で仮契約を締結したものの。市内の地域間の情報通信格差を解消するため、光ブロードバンドサービスを提供できるよう、既設の地域を除き、光ファイバーケーブル約58.9kmを敷設するほか、地上デジタル放送の難視聴を解消するため、受信装置2基並びに光電変換装置1,446個を設置するもので工期は23年2月28日とするもの。

平成22年度一般会計補正予算(第2号)は、市営住宅の火災や設備に係る修繕費及び補助金交付要綱に基づく補正を行うものであり、歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,409万9千円を追加するもの。

報告と議案は各常任委員会に審査付託され、慎重審査されたあと、本会議で議決されました。

議長交際費 4月1日～6月30日

摘要	件数	金額
弔意	4件	40,000円
慶祝	20件	106,000円
協賛	3件	18,000円
合計	27件	164,000円

先進地に学ぶ!

議会運営委員会視察研修レポート

3月24日から25日にかけて、埼玉県和光市で議会改革の取り組みについて及び議会広報について視察研修しました。

和光市における議会改革の取り組みは、平成19年4月に市議会議員選挙改選後、5つの会派から計55件の要望が提出され、議会運営委員会が審議が進められ始まりました。

各会派からの要望事項では、委員会日程の見直し、予算審議の方法、自由討議を委員会に導入、議事録の早期提供、傍聴者への資料配付、出前議会、政務調査費の見直し等で、既に結論を出したもののや、継続で審議中のものもあります。

結論が出され、採択となった一例としては、議員定数を平成23年の統一地方選挙から4名削減し18名にしたほか、傍聴者への資料の配付、傍聴人からの意見の受付、夜間・土曜議会の開催、議会ホームページの充実などで、現在は議会基本条例の策定や議会として市民の意見を聴く場の設定などを継続で審議中とのことでした。

また「わこう市議会だより」はサイズがタブロイド版の市の広報の中に綴り込む方式で年4回、1回4ページの編集で構成され、編集内容については当市と殆ど変わっておりませんが、各提出議案に対して会派で賛成

か反対かを「○×方式」で記載されておりました。当市とは都市形態が異なっているため、直ちに長所と思われる議会改革の取り組みを導入することは困難と思われるかもしれませんが、円滑な議会の運営を期するため、議会運営の万般について、協議し、意見調整を図る意味からも、この度の視察は、今後の当市の議会運営に関し、種々参考となる事例が多くありました。

(委員長 菊地 幸悦)



和光市で議会改革の取り組みについて意見交換をする委員

議会のうごき

【4月】

- 1日 諸般の報告会
- 9日 議会報編集委員会
- 21日 議会運営委員会
- 〃 企画産業常任委員会所管事務調査
- 28日 建設水道常任委員会協議会
- 〃 第2回臨時会・議員全員協議会
- 〃 議会基本条例に関する研修会

【5月】

- 11日 会派代表者会議
- 13日 新潟県妙高市議会行政視察来庁
- 17日 三重県鈴鹿市議会行政視察来庁
- 18日 宮崎県日南市議会行政視察来庁
- 20日 愛知県刈谷市議会行政視察来庁
- 〃 岡山県玉野市議会行政視察来庁
- 28日 教育福祉常任委員会所管事務調査
- 31日 議会運営委員会
- 〃 観光推進議員連盟研修会

【6月】

- 7日 第2回定例会(第1日目)
- 〃 議員全員協議会
- 15日 第2回定例会(第2日目)
- 〃 議会運営委員会
- 16日 第2回定例会(第3日目)
- 〃 会派代表者会議
- 〃 政治倫理条例検討委員会
- 〃 議会基本条例検討委員会
- 17日 各常任委員会審査
- 18日 議会基本条例検討委員会
- 21日 議会運営委員会
- 〃 議会改革等検討委員会正副委員長会議
- 23日 第2回定例会(第4日目)
- 〃 議員全員協議会
- 28日 企業誘致促進議員連盟研修会

提出された議案と審議結果

(このページにのみ適用) ■原案可決 ■同意 ■認定 ■承認 □継続審査

【第2回 臨時会】 4月28日(1日間)

- 専決処分報告について(大仙市税条例の一部を改正する条例)
- 専決処分報告について(大仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 専決処分報告について(平成21年度大仙市一般会計補正予算(第4号))
- 専決処分報告について(平成21年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号))
- 専決処分報告について(平成21年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第7号))
- 工事請負契約の締結について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第2号)

【第2回 定例会】 6月7日～6月23日(17日間)

- 教育委員会委員の任命について
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 大仙市公告式条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市協和農業体験学習館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市神岡神清水コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市仙北健康広場設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市民体育館条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市立武道館に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 大仙市太田国民健康保険歯科診療所長の給与の特例及び旅費に関する条例を廃止する条例の制定について
- 大仙市すこやか子育て手当支給条例を廃止する条例の制定について
- 字の区域の変更について
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について

- 平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
- 平成22年度大仙市一般会計補正予算(第3号)
- 平成22年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算(第1号)
- 財産の取得について
- 工事請負契約の締結について

陳 情

- ◆安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書
提出者=国土交通省管理職ユニオン東北支部
執行委員長 堀井寿 【議場配付】
- ◆市道 立倉布又線並びに上宿布又線道路拡幅改修に関する陳情書
提出者=上戸川自治会代表 斎藤博 他 【採 択】
- ◆仙北組合総合病院に歯科口腔外科を設置する要望について
提出者=大曲仙北歯科医師会長 碓水博 【採 択】

佐藤孝次 議員
高橋敏英 議員
佐藤芳雄 議員

3名に永年勤続者表彰

5月26日に東京都日比谷公会堂で開催された「第86回全国市議会議長会定期総会」において、佐藤孝次議員と高橋敏英議員の2名が在職15年以上、佐藤芳雄議員が在職10年以上により、永年勤続者表彰を受けられ、第2回定例会の冒頭で児玉裕一議長より表彰状が伝達されました。受賞おめでとうございます。



宮崎牛に端を発した口蹄疫問題、そして国技である大相撲力士らの賭博問題等が大きな社会問題となっており、畜産農家を考えるに、また、相撲ファンを考えると、早く終息して貰いたいと念じているところです。

さて、大仙市発足から早6年目を迎えておりますが、ここにかけて地域の声が行政に届きづらくなっている、また、議会の動きも見えないといった声が巷に広がっております。この事はその地域の住み心地は合併前に比べて向上しているのか、生活の利便性は増したのか、そして何よりも議会は身近になったのか等については、私共としても今一度原点にかえり検証して見る必要があるのではないかと思っております。

今定例会は5人の議員が、都市計画、行財政改革、福祉の問題等々について質問しましたが、身近な問題でもあり、緊迫した中であつて迫力ある質問が展開されたところであり、私共も議会の活性化を図るべく努力をしておりますが、願わくば、この議会だよりをご愛読頂き、併せて市民皆様のご意見を頂戴頂ければ幸いと存じます。

編集委員 佐藤清吉 記